



がいこくじんろうどうしゃ 外国人労働者

日本で働く外国人労働者が、昨年10月で約146万人と、これまでで一番多くなりました。人口が減っている日本では、人手不足にな



大型の農業機械を使うインドネシア人の技能実習生。地元農家の男性(手前)と作業しています。2018年10月、香川県観音寺市

やむ工場や飲食店など多くの仕事で、外国人にたよっています。外国人労働者の数は、この10年間で3倍になりました。

特に増えたのは、技術を学ぶため、日本の工場などで働く外国人技能実習生や、コンビニでよく見かける留学生のアルバイトです。

それでも人手は足りず、国は外国人労働者をもっと増やそうと4月から新制度を始めます。試験をして、外国人が建設業や農業、介護など14種類の職業で働ける

ようにするほか、経験を積んだ技能実習生は試験なしにして、5年間で約34万人を受け入れる見込みです。

ただ、技能実習生については、安い給料や長い労働時間が大きな問題になり、働いていた職場から逃げ出す実習生も大勢いました。

外国人が日本で安心して働き、くらすためには、給料や仕事の内容を日本人と平等にし、外国語で生活相談を受けるなどの対策が必要です。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 日本では外国人労働者が増えています。それはなぜですか？

② 日本で働く外国人労働者は昨年10月で何万人ですか。

約 万人

なまえ【 】

③ 「働いていた職場から逃げ出す実習生も大勢いました。」と書かれています。その理由を書きましょう。

④ 外国人が日本で働きやすくするにはどんな対策が必要ですか。